



変電所を見学する
東淀工業高校の生徒ら

関西送配電大阪支社が教室

工高生、変電所を見学

関西電力送配電大阪支社(野地小百合理事・支社長)は、大阪府立東淀工業高校の生徒を対象にした出前教室

の社員らが参加。学習指導要領を踏まえた電

力技術に関する授業と変電所の設備見学を通じて、生徒たちに電気が届く仕組みなどを分かりやすく伝えた。高校生の学習指導要領・工業編では、電力技術を電力の供給と利用の視点から捉え、工業生産と相互に関連付けて考察し、実践的・体験

的な学習活動を行うことが明記されている。こうした背景から大阪南コミュニティセンター統括グループは、電力技術を学べるカリキュラムを企画。大阪府教育庁教育振興室高校再編整備課に提案したところ、出前教室と変電所見学会の開催に至ったという。出前教室では電気に関する基礎知識、電気を供給する仕組み、送配電設備の特徴などを説明。乾燥時と水などでぬれている時の感電の違いもレクチャーした。座学の後は、小曽根電力所近隣の変電所に訪問。配電盤や変圧器などを見学し、それぞれの役割を所員が解説した。出前教室と見学会は昨年度開催した。